

令和5年度進捗評価シート

奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）

（最終変更 令和6年3月29日）

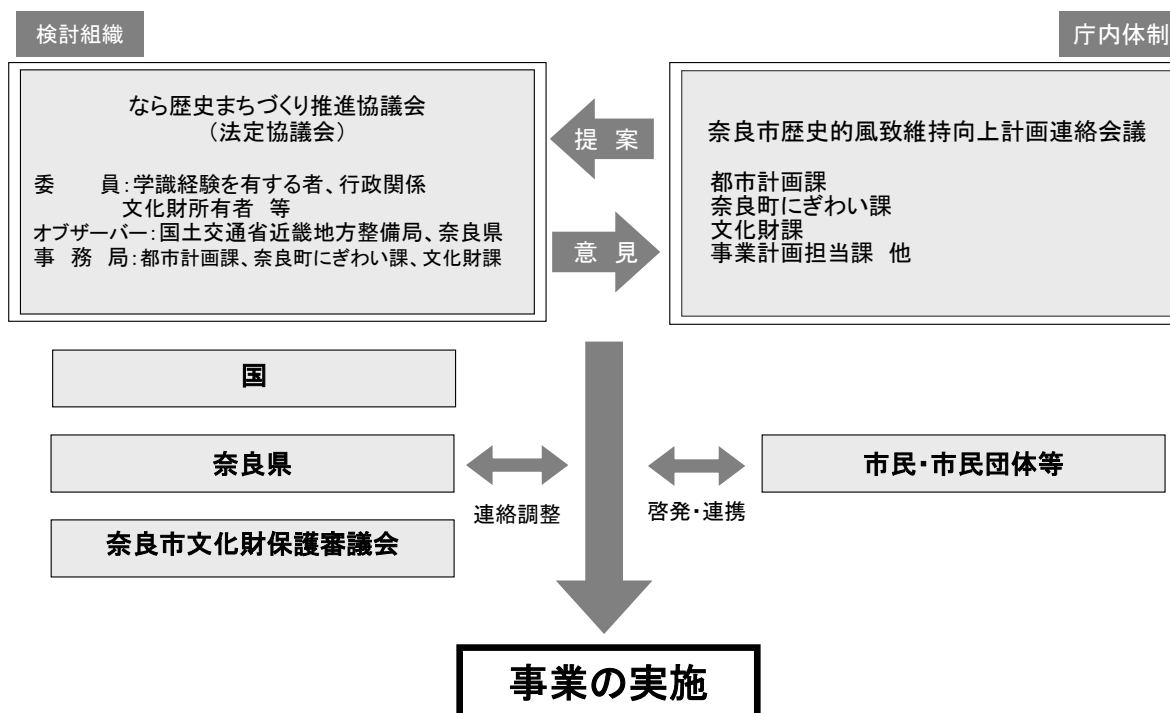
□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業（平成28年度で事業完了）	
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業	3
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)(平成28年度で事業終了)	
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)	4
5 町家建物内部改修モデル事業（平成27年度で事業終了）	
6 奈良町町家バンク事業	5
7 文化財調査事業	6
8 三条線電線類美化事業	7
9 猿沢線街路整備事業	8
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業	9
11 ナラ枯れ等対策事業	10
12 奈良のシカ保護育成事業	11
13 伝統的建築文化継承事業	12
14 なら工芸館活用事業	13
15 伝統祭礼・行事助成事業	14
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業	15
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業	16
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業	17
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	18
20 入江泰吉旧居活用事業	19
21 奈良町にぎわいの家活用事業	20
22 観光案内板・名所解説板等整備事業	21
23 文化財解説板整備事業	22
24 奈良まちかど博物館事業	23
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	24
26 史料保存館活用事業	25
27 文化財講座開催事業	26
28 奈良町おもてなし事業（平成30年度で事業終了）	
29 地域の伝統行事発信事業（令和2年度で事業終了）	
30 奈良町見知り開催事業	27
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定	28
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	29
3 文化財の防災	30
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	31
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	32
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	33
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	34

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
計画の実施・推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	景観まちづくりの担当部局である都市整備部都市計画課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局である教育部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年2月22日に「第14回なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



第14回なら歴史まちづくり推進協議会 (令和6年2月22日撮影)

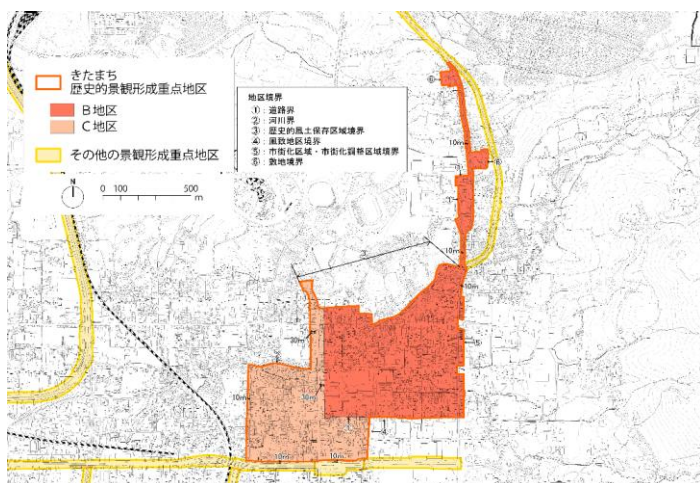
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観計画		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
平成22年に策定された奈良市景観計画は、平成28年に眺望景観の保全や歴史的な町並みの保存・保全を目的のため改正を行った。さらに、令和4年には、大規模な建築物による景観の阻害や歴史的な町並み質感の低下などの課題に対応するため、よりきめ細やかな地域区分や基準設定を中心に計画内容の見直し、改正を行った。 今年度は、その計画ないの景観形成基準をもとに調和を図るよう指導を行った。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

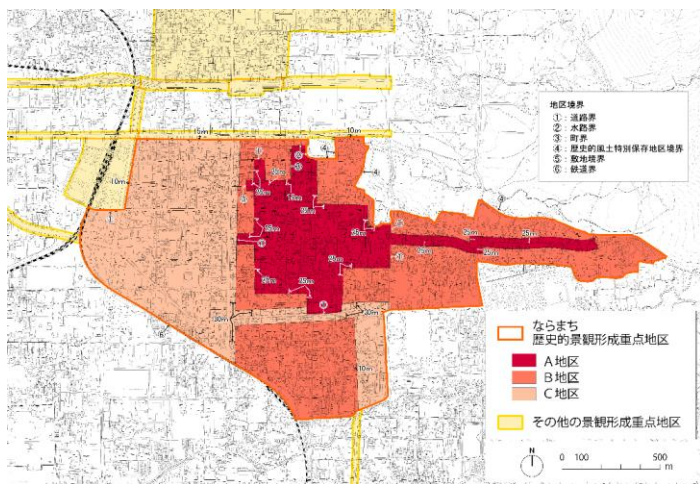


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



平城宮跡からの眺望

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
史跡興福寺旧境内保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成10年度～令和6年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存活用事業費補助金、県単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)		
計画に記載している内容	興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。 令和5年度は第1期整備事業の整備報告書及び境内整備計画策定委員会において整備基本計画の策定等を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。		
状況を示す写真や資料等			
●令和5年12月8日 第32回 興福寺境内整備委員会開催 1. 令和4年度事業(実績) 2. 令和5年度事業(計画) 3. 令和6年度事業(予定)			
●同日 第3回史跡興福寺旧境内整備計画策定委員会開催 『史跡興福寺旧境内整備基本計画』(令和6年策定予定)の検討			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成6年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度、単独事業 平成6年度～		
計画に記載している内容	奈良市都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は実施せず、累計で66件となった。また、補助金の応募者が修景内容について地域で活躍する建築士から意見を聴取してより良い内容で修景できる制度を整えている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●令和5年度補助実績 なし

●令和5年度 意見聴取事例(令和6年度実施事業分) なし

●過去の修理工事例 (令和4年度 No.2)



【修景前】 令和4年8月5日撮影



【修景後】 令和4年12月15日撮影

【参考】令和4年度実施工事

	所在地	用途	内容	補助額(円)	補助率
1	東寺林町	門	門・高塀新設	4,310,000	50%
2	元林院町	店舗	格子窓新設、腰板張替、戸口取替ほか	907,000	50%

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
奈良町町家バンク事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の引き合わせを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
当該事業は平成23年に開始され平成27年からは「奈良市空き家・町家バンク」として運営してきた。「町家バンク」を奈良町にぎわい課が、「空き家バンク」を住宅課が管理運営していたが、業務の効率化から令和4年度より空き家バンクと町家バンクの登録業務及びホームページの運営を住宅課が行っている。それにより、バンクの利用者登録について空き家、町家の区別を無くしたため、利用者登録数は「奈良市空き家・町家バンク」の利用者数となっている。 令和5年4月からの利用者登録数は令和6年3月時点で122件、町家バンク登録物件数は0件となっている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	利用者登録数は一定数確保できているが、物件登録者が確保できていないという課題がある。課題について、奈良町にぎわい課と連携し進めていく。	
状況を示す写真や資料等		
●町家バンクの登録状況 ※件数は平成23年7月～の累計数、()内は令和5年4月～令和6年3月 登録物件数 43件 (0件) 利用登録者数 562件 (122件) 成約数 22件 (1件) ※再登録を含む ●成約物件の活用事例 ※件数は平成23年7月～の累計数、()内は令和5年4月～令和6年3月の 住居 3件 (0件) 店舗 11件 (1件) ゲストハウス 3件 (0件) カルチャー教室 3件 (0件) 工房 1件 (0件) 不明 1件 (0件) ※令和4年から令和3年奈良町にぎわい課実績に加算し算出		

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	歴史資料調査 平成8年度～ 近世近代建造物調査 平成24年度～ 庭園調査 平成24年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業（歴史資料調査(大宮家文書調査)、庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）		
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施。 <近世近代建造物調査>1件の詳細調査を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



●近世近代建造物調査
令和5年12月14日撮影



●大宮家文書調査
令和5年11月17日撮影

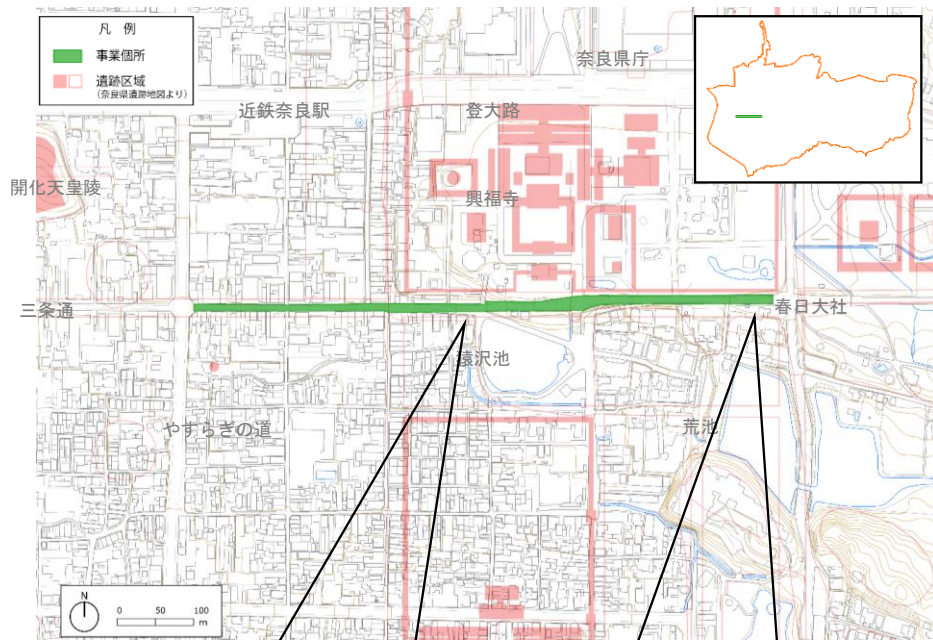
評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況			
三条線電線類美化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成27年度～令和6年度					
支援事業名	無電柱化推進計画補助事業及び市単独事業の活用を検討(平成28年度～令和6年度)					
計画に記載している内容	三条通の上三条町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
令和元年度に、無電柱化の推進に関する法律に基づき「奈良市無電柱化推進計画」を策定し、市内で優先的に無電柱化に取り組む箇所の考え方や推進方策などを取りまとめた。 令和5年度は、同計画に位置付けられた市道三条線の無電柱化事業について、特に猿沢池西側から一の鳥居前までの整備に向けて、関係機関等との協議を進め、無電柱化工事に着手予定。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない						

状況を示す写真や資料等

●三条線電線位置図(緑着色部分)



猿沢池西側 : 令和5年12月7日撮影



一の鳥居前 : 令和5年12月7日撮影

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況			
猿沢線街路整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成27年度～令和6年度					
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金(街路事業)の活用を検討					
計画に記載 している内容	猿沢線の鶴福院町区間(延長120m)の道路拡幅を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	地元まちづくり研究会の動向を伺う。					
状況を示す写真や資料等						

●現況写真



参考：令和4年1月7日撮影



参考：令和4年1月7日撮影

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業(修理事業)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～令和6年度（平成27、28年度は、奈良町都市景観形成地区を除いた範囲で実施）		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和6年度		
計画に記載している内容	奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は2件の助成を行った(累計27件)。内訳は利用中の物件が1件、修理を実施し今後利用する予定の未利用物件が1件である。修理事業の実施により、歴史的風致形成建造物の維持が図られるとともに、利活用が促進された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

●令和5年度補助実績

	所在地	用途		内容	補助額(円)	補助率
		事業前	事業後			
1	西木辻町	住宅	店舗	外壁漆喰塗替 ほか	6,314,000	80%
2	今御門町	店舗	店舗	屋根葺き替え ほか	8,492,000	80%

●修理工事例（令和5年度 No.1）



【修理前】 令和4年12月6日撮影



【修理後】 令和5年12月7日撮影

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
ナラ枯れ等対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	県単独事業		
計画に記載している内容	ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良県が平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度から令和5年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



●春日山原始林周辺の様子(奈良県提供:令和5年9月28日撮影)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
奈良のシカ保護育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	県・市・春日大社共同事業		
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、奈良のシカの生態調査のため頭数調査を行った。 負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。 鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

- 令和5年度「奈良のシカ」生息頭数調査
 - ・調査日時 令和5年7月15日・16日 午前5時30分～8時
 - ・調査地域奈良公園域内(図面参照)

○奈良公園の鹿の総数1,233頭
(令和5年7月16日現在)

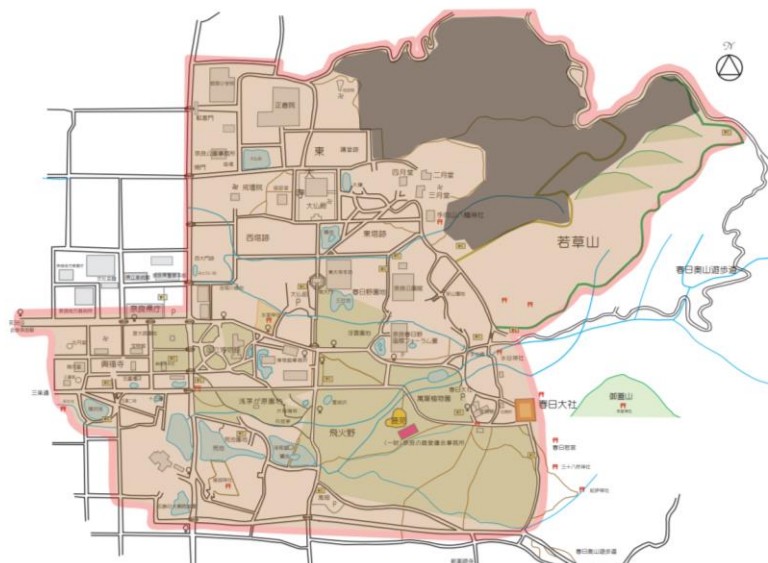
- ①奈良公園内生息頭数
- 総頭数 : 1,233頭 (前年比+51)
 オス : 286頭 (前年比+82)
 メス : 747頭 (前年比+23)
 子鹿 : 177頭 (前年比-54)
- ②鹿苑内保護収容頭数
- 総頭数 : 286頭 (前年比-54)
 オス : 144頭 (前年比-42)
 メス : 142頭 (前年比-12)



●鹿の角きり行事 令和5年10月撮影

参考資料

「奈良のシカ」頭数調査範囲

調査エリア
(図面を参照)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統的建築文化継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。

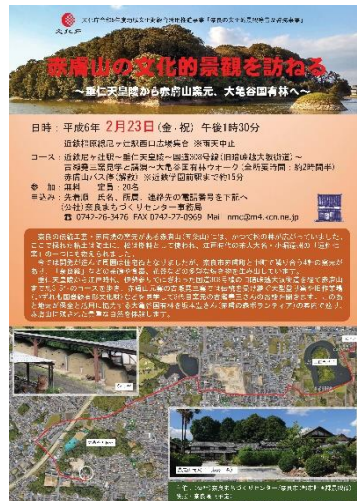
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公益社団法人日本建築家協会JIA文化修復塾・近畿支部保存再生会の「JIA文化財修復塾近畿支部現地講習」を令和5年9月16日と令和6年2月23日に開催した。

保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用についての話をを行った。(参加者: 令和5年9月: 約75人、令和6年2月: 約20人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



● 令和6年2月23日 撮影

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
なら工芸館活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成12年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、「日本伝統工芸展IN奈良」で受賞者の岸本氏によるギャラリートーク開催。「奈良工芸フェスティバル」ではコロナ禍以降初めての茶会を実施。令和5年度は3万8054人の来館者があり賑わった(対前年+12.4%)。また観光庁の「観光再始動事業」の採択により、外国のゲストを対象に通訳付き・伝統工芸作家による古楽面の彩色体験の後・氷室神社での舞楽の鑑賞ツアーを実施。ならまちの風致・街並みを歩きながら、外国人・日本人の方ツアーガイドに2か国語対応で歴史・文化を紹介して頂き、文化の伝承に務めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

奈良工芸の魅力発信し、工芸品の使い手を育むことによって工芸作家を支援する。若い世代からシニア層・外国人旅行者など幅広い世代・層に向けて、グループ会社のメディア、ワークショップを活用しながら理解を深め、継続的に関わり生むファンを増やしてゆく。

状況を示す写真や資料等

●なら工芸館

(参考)過去4年間の入館者数

令和 2年度 20,275人
令和 3年度 26,076人
令和 4年度 33,843人
令和 5年度 38,054人



令和5年7月撮影

●若手作家による制作実演の様子



令和5年7月撮影

●制作体験教室

(参考)過去4年間の参加者数

令和 2年度 137人
令和 3年度 191人
令和 4年度 100人
令和 5年度 118人



令和 5年7月撮影

●制作体験教室の様子



令和 5年7月撮影

●奈良工芸フェスティバル

(参考)過去4年間の入場者数

令和 2年度 中止
令和 3年度 中止
令和 4年度 2,623人
令和 5年度 3,098人



令和 5年11月撮影

●工芸フェスティバルの様子



●観光再始動事業の様子



令和 5年11月撮影

●観光再始動事業

・奈良の伝統工芸体験と
伝統舞楽鑑賞ツアー 実施

・特別展「奈良の伝統工芸と寺社」
令和5年度 5345人
(ツアー参加 31人)



令和5年11月～ 令和5年12月撮影



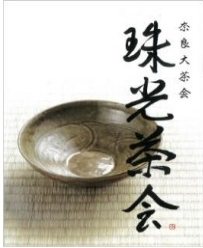
評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統祭礼・行事助成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭等を行う団体に助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●春日若宮おん祭(奈良市観光協会より助成) 【主催】春日若宮おん祭保存会 令和5年12月15日:大宿所詣、御湯立、大宿所祭 令和5年12月16日:大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭 令和5年12月17日:遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、御旅所祭、神楽、東遊、田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、還幸の儀			
			
●薪御能(奈良市観光協会より助成) 【主催】薪御能保存会 令和5年5月19日:春日大社「咒師走の儀」 興福寺「南大門の儀」 令和5年5月20日:春日大社「御社上の儀」 興福寺「南大門の儀」			
			
●薪御能 南大門の儀 令和5年5月撮影 写真:桑原 英文			
●采女祭(奈良市観光協会より助成) 【主催】采女祭保存会 令和5年9月28日:宵宮祭 令和5年9月29日:例祭(花扇奉納行列・例祭「花扇奉納神事」・管絃船の儀)			
			
●采女祭 令和5年9月 撮影			
			
●采女祭 令和5年9月 撮影			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
奈良大茶会珠光茶会開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	観光戦略課と奈良市観光協会で珠光茶会実行委員会の事務局を担当		
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまで、ならまち地区で元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催し、来場者数は第一回(平成25年度)約5,900人、第二回(平成26年度)約7,400人、第三回(平成27年度)約9,400人、第四回(平成28年度)約8,400人、第五回(平成29年度)約8,300人、第六回(平成30年度)約6,700人であった。閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいており、成功している事業であると考えている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全てのお茶席の開催を中止したが、お茶文化を発信するため過去の珠光茶会(社寺会場)で配付した小冊子を再編集した『小冊子(総集編)』と若年層(小学生高学年及び中学生)向けの『茶道マンガ教材』を作成・配布した。令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施を予定していたが、感染者数の再拡大に伴い、開催を中止した。 令和4年度は、感染症対策を講じ、感染状況を見極めつつ開催し、約750人が来場した。 第十回を迎えた令和5年度は、特別茶席や子ども特別企画を開催し、約1500人が来場した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
◆令和2年度 小冊子・茶道マンガ教材作成(新型コロナ感染拡大防止のためお茶席は中止)  過去の小冊子の総集編  若年層向け「茶道マンガ教材」 ◆令和3年度 第八回珠光茶会(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) ◆令和4年度 第九回珠光茶会(感染症対策を講じ、約750人が来場) ◆令和5年度 第十回珠光茶会 期間: 令和6年2月6日(火)～2月12日(月) 会場: 春日大社/東大寺/元興寺/大安寺/西大寺/唐招提寺/薬師寺/法華寺 奈良町にぎわいの家/八窓庵(奈良国立博物館内)/名勝大乘院庭園文化館/なら工芸館 鹿の舟「繭」 参加流派及び社中: 表千家/裏千家/武者小路千家/遠州流/石州流/簗内流/宗徧流/吉川宗文社中 池西宗正社中/敬游会/奈良市茶華道連盟/奈良工芸フェスティバル実行委員会  (参考) 第十回珠光茶会 令和6年2月7日  (参考) 第十回珠光茶会 令和6年2月12日			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
春日大社写生会及び清書会開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載 している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催を見送った。 令和5年度は、写生会に約109名、清書会に約148名の参加があった。 世界遺産である春日大社の境内において、子どもたちを対象に文化活動の場を提供できた。 なお、奈良市は、今年度については補助金の交付はなかったが、後援を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	次年度においても、公募において補助金を募集し、交付対象事業に選定されれば補助金を交付する。また、後援名義申請があれば後援を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
なら国際映画祭開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、地域の映画文化を育み、新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、来年行われる本祭のプレイベントとして、学生が主役となって創り上げる映画祭「なら国際映画祭 for Youth 2023」が9/16～9/18にわたって実施され、3日間でのべ712人が動員された。本祭については2年に1回の実施であり、次回開催予定は令和6年度である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も、公募により交付事業として選定された場合、補助金を交付する。奈良市中心のふるさと応援寄附補助金については継続して交付する。		
状況を示す写真や資料等			



なら国際映画祭 for Youth2023 クロージング撮影
(令和5年9月18日撮影)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

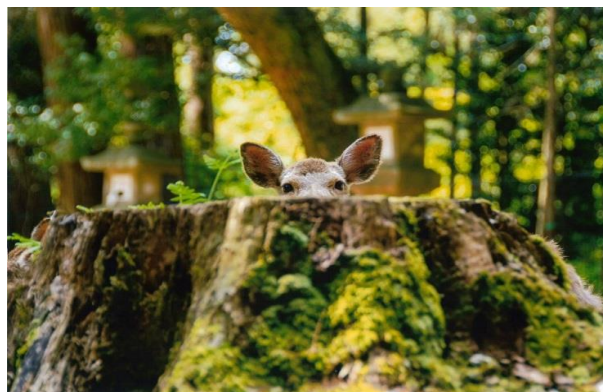
		評価対象年度	令和5年度
項目			現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTは2年を1クールとして開催しており、前回が令和2年度のため、次回は令和4年度実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一年延期し、令和5年度の開催となった。 継続して事業実施をすることで、奈良を代表する写真家・入江氏の功績を顕彰するとともに、本市の写真文化のさらなる発展に寄与する事業である。令和5年5月1日から6月30日に作品を募集を開始。入江泰吉記念写真賞は61点の応募作品の中から眞岡綺音さんの「陸の珊瑚」が選ばれた。なら PHOTO CONTESTの応募作品548点から、「なら賞」「日本経済新聞社賞」「入選」と受賞作品を決定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		継続実施するなかで、本賞への支援者をより増やすことのできる企画を検討・実施する必要がある。	

状況を示す写真や資料等

●令和5年度実施の受賞作品



第5回入江泰吉記念写真賞受賞 眞岡綺音「陸の珊瑚」(48枚組)

第5回なら PHOTO CONTEST なら賞受賞
二川和歩「佇む」(単写真)第5回なら PHOTO CONTEST 日本経済新聞社賞受賞
若井芳昭「ならが視る」(単写真)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
入江泰吉旧居活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催。新型コロナウイルス感染拡大の脅威がなくなったこともあり、東大寺へ参拝する外国人観光客が激増、日本人も少しずつ増えてきている。講座参加についても復調への兆しが見られるが、まだまだ手ごたえはなく、SNSなどを使って入江旧居のPRを積極的に展開していかなければと思われる。令和5年度は31件(指定22件/自主9件)の事業を実施し、延べ239人(指定163人/自主76人)の参加があった。また、入館者数は5,744人と前年に比べ、44.5%の増となったが、感染症拡大前の数字には、至らない状態である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画通り進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	講座実施にあたっては参加人数の制限等の感染予防対策を行った。		
状況を示す写真や資料等			

●講座風景



○親子でつくるピンホールカメラ教室
令和5年7月30日撮影



○万葉の花を訪ねて
令和5年4月30日撮影



○入江泰吉旧居で、はじめの一句
令和5年6月25日撮影



○入江泰吉を語り継ぐ 講師：小椋 勉
令和5年6月4日撮影



○発見！入江泰吉 講師：妖怪書家・逢香
令和5年8月13日撮影



○入江泰吉さんぼみち
令和5年7月29日撮影

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
奈良町にぎわいの家活用事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。

令和5年度は、町家の暮らしに関する理解を深める講座や体験イベントを充実させ、施設の目的である奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

実施事業	令和5年度		令和4年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
総数	235回	1,840人	238回	1,659人
体験イベント	41回	495人	23回	240人
・季節行事	12回	97人	9回	77人
・四季の料理	3回	15人	2回	13人
・茶会	11回	209人	0回	0人
・くらし文化体験など	15回	174人	12回	150人
・その他				
講座	80回	1,243人	93回	1,143人
・奈良町の風習	16回	311人	22回	326人
・町家講座	2回	38人	1回	9人
・暮らしの歌(短歌)	10回	256人	6回	71人
・気軽に遊び講座	52回	638人	64回	737人
・その他				
その他	114回	102人	122回	276人
・展示(花・アートなど)	108回	31人	113回	43人
・町家相談会	1回	1人	0回	0人
・その他	5回	70人	9回	233人



●講座＆朗読劇
一刀彫の名人・森川杜園企画vol. 9
令和5年6月10日撮影



●展示
vol. 30 「わたしはわたしを夢にみる」ナカスジミナミ展
令和5年11月7日撮影

過去の実績	回数	参加人数
平成27年度	82回	2,186人
平成28年度	138回	2,523人
平成29年度	153回	3,964人
平成30年度	213回	2,830人
令和元年度	181回	2,071人
令和2年度	170回	634人
令和3年度	147回	881人

※閉館期間あり

※閉館期間あり



●体験イベント
みんなで餅つき大会！
令和6年1月6日撮影

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
観光案内板・名所解説板等整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)		
計画に記載している内容	観光案内板の設置		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、歴史の道案内道標およびならまち・きたまちエリアに設置されている道標の劣化が著しいことから、8基の道標を撤去し、新たに設置した。 なお、平成25年度からの新規設置数(累計)は、昨年度から変わらず観光案内看板21基、観光名所解説看板26基、指示標識8基。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

●令和5年度 観光案内看板・観光名所解説看板設置予定

No.	予定場所(施設名等)	種別
1	正倉院 北東	道標
2	正倉院 北西	
3	奈良名張線上高畑町	
4	白毫寺町周辺	
5	白毫寺町周辺	
6	誓多林町 大誓橋付近	
7	福智院町1	
8	登大路町2	

●観光名所解説板・指示標識設置事例



【撤去前】 令和6年2月22日撮影



【リニューアル後】 令和6年3月15日撮影

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財解説板整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業(県文化資源活用補助金を活用)		
計画に記載している内容	指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語(英・中・韓)による名称表記を添えた解説板を設置している。 令和5年度には4基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は83基となる。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



●登録有形文化財佐佐木家住宅解説板
令和6年3月8日撮影

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
奈良まちかど博物館事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成15年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良きたまち地区は平成15年度に開始し令和5年現在は10館、ならまち地区は平成21年度に開始し令和5年現在は15館が開館している。また、平成28年度からは毎年各館長にアンケートを実施し、内容をイラストMAPに反映させている。 令和5年度は、奈良町見知ルに参画し、ならまちエリアのまちかど博物館を巡るツアーを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

- まちかど博物館見学ツアー ならまち編
 令和5年11月7日(火) 10:00～12:00
 参加者:7名
 見学箇所:ホテル尾花・元林院写真ギャラリー



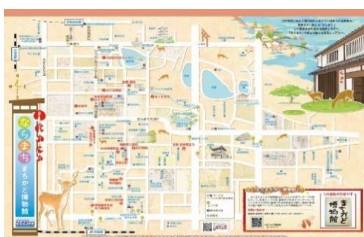
ツアーの様子(令和5年11月7日撮影)

●まちかど博物館イラストマップ

きたまち:12,000部



ならまち:16,000部



評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年(市単独事業)、平成28年度(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業)		
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業		
計画に記載している内容	ならまちの夜の魅力を発信するとともに観光客が奈良市内で宿泊する動機づけを高めることを目的とした「世界遺産の夜元興寺寄席」を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、「世界遺産の夜元興寺寄席」として、令和4年度よりも定員を増やして実施した。今年度は昨年度に引き続いて浪曲を演目に加えて客層の拡大を図るとともに、東京の奈良まほろば館やJRおおさか東線等の駅へのチラシの配置、デジタルサイネージの活用等により県外からの誘客を図った。県外からの観客は3日間で42名であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和5年度 世界遺産の夜元興寺寄席 実施状況

演目: 落語・講談・浪曲

開催日時: 令和5年9月15日(金)～9月17日(日) 3日間

観客数: 253人



世界遺産の夜元興寺寄席 ポスター



寄席の様子(令和5年9月15日撮影)



寄席の様子(令和5年9月16日撮影)



寄席の様子(令和5年9月17日撮影)

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
史料保存館活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。(企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1~2回程度)また、奈良町の歴史・文化資料の利活用促進のため、館蔵品のデジタルアーカイブ化を行い、ウェブ上で公開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は、館蔵の歴史資料を活用した企画展示を3回、スポット展示の後継である特別陳列「ならまち歳時記」12回、館蔵史料特別公開を12回、また周辺施設や団体との共催事業として、奈良町にぎわいの家での出張展示4回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー(観光ボランティアの会と共催)4回、古文書入門講座連続2回を開催。この他ならまちわらべうたフェスタに参加し、関連展示の紹介を行った。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●「企画展示」 (人数) 奈良町の夏祭り 造り物を楽しむ —春日社永代太々神楽関係史料から— 6月13日(火)～7月30日(日) 2519人 「日新新聞」が伝える明治の奈良町 10月24日(火)～12月17日(日) 3207人 新収蔵史料紹介 —大正時代の小学校・椿井小学校写真資料から— 2月14日(水)～3月31日(日) 3092人 ●「特別陳列 ならまち歳時記」／「館蔵史料特別公開」 奈良の桜 植桜楓之碑／興福寺絵図 4月1日(土)～4月30日(日) 1647人 薪能／大和名所 5月2日(火)～5月28日(日) 2143人 三条村野神絵馬／元興寺五重塔の焼失 5月30日(火)～6月25日(日) 1579人 地蔵講／興福寺小絵馬 6月27日(火)～7月30日(日) 1637人 奈良奉行と万燈籠／戦時下の奈良町 8月1日(火)～8月27日(日) 1359人 幕末の地震記録／尾花座 8月29日(火)～9月24日(日) 1222人 鹿の角きり／奈良名勝写真帖 9月26日(火)～10月14日(土) 1342人 正倉院御開封之図／幕末の学問所 南都明教館 10月17日(火)～11月12日(日) 1921人 春日若宮おん祭／奈良暦 11月14日(火)～12月17日(日) 1727人 奈良町の正月行事 春日講／引札 12月19日(火)～1月21日(日) 1388人 節分真榊奉納／奈良の墨 1月23日(火)～2月25日(日) 1926人 芭蕉の句と大和名所／月ヶ瀬梅溪観梅資料 2月27日(火)～3月31日(日) 2338人 ※わらべうたフェスタ参加 10月15日(日) ●出張展示「タイムトラベル奈良町」 奈良町の夏祭り 造り物を楽しむ 6月24日(土) 7人 「日新新聞」が伝える明治の奈良町 10月7日(土) 7人 中新屋町歴史探訪 12月16日(土) 12人 新収蔵資料紹介 3月23日(土) 10人 ●解説付きガイドツアー もっと知りたい“奈良名勝写真帖を巡る” 10月3日(火) 12人 もっと知りたい“正倉院と奈良奉行梶野良材” 11月7日(火) 13人 もっと知りたい“春日信仰と奉納燈籠” 1月16日(火) 34人 もっと知りたい“句碑を巡る芭蕉と奈良町・東大寺—和州奈良之図で歩く—” 3月12日(火) 0人 ●講座 古文書入門講座(連続2回) 2月7日(火)・2月14日(火) 17人			
			
●企画展示 展示解説 令和5年6月17日撮影		●奈良町にぎわいの家 出張展示 令和5年10月7日撮影	
			
		●解説付きガイドツアー 令和5年10月3日撮影	

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財講座開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業(一部共催)		
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2023」 (1) 7月30日「古民家で昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう!～」 参加者 20名 (2) 11月5日「自然と文化探訪―大亀谷国有林×赤膚山元窯―」 参加者 21名 (3) 11月25日「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」 参加者 18名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



●奈良市文化財講座
「古民家で昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう!～」
令和5年7月30日撮影



●奈良市文化財講座
「自然と文化探訪―大亀谷国有林×赤膚山元窯―」
令和5年11月5日撮影



●奈良市文化財講座
「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」
令和5年11月25日撮影

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度						
項目		現在の状況							
奈良町見知り開催事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手							
事業期間	令和3年度～								
支援事業名	市単独事業								
計画に記載している内容	地域の伝統・文化の舞台である「場」を活かし、それらに携わる「ひと」が自ら企画し来訪者と交流しながらその良さを伝える機会を創出すること、また、イベント運営に地域のまちづくり団体が携わることで、地域の資産を守り活かす担い手を育み、まちづくりの関係者間の横の連携の強化と促進を図る。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
令和5年度も前年に引き続き、実行委員会に地域のまちづくり団体だけでなく、個人、大学、学生団体が参画した。また、企画参加者やボランティアの形で多くの人がイベントに参画した。また、関係者が多岐にわたることから、横の連携を強化することを目的に、企画参加者(特別公開や特別イベントの実施者)・ボランティアの交流会等をイベント前後に開催した。令和5年度のイベント参加者は3,066人であった。									
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)							
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない									
状況を示す写真や資料等									
奈良町見知り 開催期間:令和5年11月5日(日)～12日(日) 8日間									
									
実行委員会会議 令和5年7月21日撮影		ボランティア交流会 令和5年9月18日撮影							
									
特別公開の様子 令和5年11月11日撮影		特別イベントの様子 令和5年11月8日撮影							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">奈良町見知り 年度別参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,889人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,838人</td> </tr> </tbody> </table>		奈良町見知り 年度別参加人数		令和3年度	1,889人	令和4年度	3,838人
奈良町見知り 年度別参加人数									
令和3年度	1,889人								
令和4年度	3,838人								
企画参加者交流会 令和5年12月15日撮影									

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財調査、指定			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載 している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・近世近代建造物調査、歴史資料調査（奈良文化財研究所との連携研究として大宮家文書調査）を実施。 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に3件を新たに指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から1件（1か所）について新たに意見具申した。また、当市からの意見具申に基づき新たに5件（2か所）が登録された。引き続き、候補物件の調査等を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



●近世近代建造物調査
令和5年12月14日撮影



●大宮家文書調査
令和5年11月17日撮影

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-2参照。

名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業に補助金交付。

国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財(20件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



●名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業
令和5年8月31日撮影

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	防災対策への補助金の交付 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東大寺金堂(大仏殿)ほか22棟防災施設整備事業等に補助金を交付(建造物の防災事業)。 令和6年1月23日、「文化財防火ゼミナール」開催。 令和6年1月20日・27日・30日、3か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財防火訓練を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



●文化財防火ゼミナール(会場:春日大社 参加者:109人)
令和6年1月23日撮影



●文化財防火訓練(会場:霊山寺)
令和6年1月27日撮影

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容 文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
評価軸③-23、③-26、③-27参照。 奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催、(2)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催。旧細田家住宅活用プロジェクトは市教育委員会とNPO法人文化創造アルカの共催。 令和5年度、文化財関係7団体に計920千円の文化財補助金を交付。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

●文化財講座開催事業
評価軸③-27参照

●文化財解説板整備事業
評価軸③-23参照

●史料保存館活用事業
評価軸③-26参照

●旧細田家住宅活用プロジェクト
旧細田家住宅のひなまつり

4月22日(土) 59人

おりがみでミニこいのぼりを作ろう！
 旧暦の七夕を楽しもう～ミニ講座「日本の星伝説と天体観察」
 きたまちというでの特別公開
 奈良町見知りでの特別公開
 旧細田家できな粉雑煮を食べる会
 奈良の茶がゆ、いただきます！

5月5日(金) 27人
 8月21日(月) 14人
 9月10日(日) 74人
 11月11日(土)～12日(日) 196人
 2月11日(日) 16人
 3月23日(土) 15人



●旧細田家住宅のひなまつり
令和5年4月22日撮影



●旧暦の七夕を楽しもう～ミニ講座
「日本の星伝説と天体観察」
令和5年8月21日撮影



●旧細田家できな粉雑煮を食べる会
令和6年2月11日撮影

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

評価対象年度		令和5年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ならナビ 週末あそびのコーナーで「日本伝統工芸近畿展in奈良2023」の紹介	令和5年5月12日	NHK奈良 テレビ
ゆうドキ！「日本伝統工芸近畿展in奈良2023」の紹介	令和5年5月17日	奈良テレビ テレビ・WEB媒体
KCN情報発信スタジオKスタ！地域のニュースで「日本伝統工芸近畿展in奈良2023」の紹介	2023/5/23～28の間	近鉄ケーブルネットワーク テレビ
「奈良で雨の日でも楽しめるデートスポット10選」なら工芸館を紹介	令和5年6月中旬	プリティオンライン・WEB媒体
春日社永代太々神楽 “作る・見る”ともに楽しむ	令和5年6月23日	奈良新聞
やまと人巡りー「漆芸の裾野を広げたい」漆芸家 八尾さつきさん	令和5年6月29日	産経新聞・産経新聞デジタル
古民家で昔のくらし体験(奈良新聞「こまどり」欄に掲載)	令和5年8月8日	奈良新聞
入江泰吉記念写真賞、大賞に眞岡綺音さん「陸の珊瑚」	令和5年8月16日	日本経済新聞
入江泰吉記念写真賞 移ろう家族の時、捉え 眞岡さん受賞、高1から8年かけ撮影	令和5年8月25日	毎日新聞奈良版
こども工芸教室 伝統文化体感し笑顔一なら工芸館書と団扇づくりに挑戦	令和5年8月28日	奈良新聞・奈良新聞デジタル
猿沢池「采女祭」満月照らす管絃船	令和5年9月30日	奈良新聞
「waraku和楽」一伝統工芸に出会う旅」なら工芸館の伝統工芸を取材	令和5年8月・9月号	小学館・雑誌
やまと人巡りー「赤膚焼陶芸作家 大塩まほさん 伝統と作家性と」	令和5年10月12日	産経新聞・産経新聞デジタル
「サライ11月号」『日本の伝統工芸の起源は奈良にあった』	令和5年11月1日	小学館・雑誌
奈良町 美しき古民家公開	令和5年11月6日	読売新聞
奈良町 美しき古民家公開—12日まで催し 吉岡家住宅など(奈良町見知り)	令和5年11月6日	読売新聞
一日駅長「Kちゃん」お出迎え…JR京終駅(奈良町見知り)	令和5年11月8日	読売新聞
登録有形文化財 県は2か所5件答申 手貝町会所と旧増岡邸	令和5年11月25日	奈良新聞
県内初の新聞を特集 (企画展示 「日新新聞」が伝える明治の奈良町)	令和5年12月13日	毎日新聞
明治の奈良町の歴史ひもとく 奈良初の新聞「日新新聞」展	令和5年12月14日	朝日新聞
888回目の「春日若宮おん祭」	令和5年12月18日	奈良新聞
「奈良まちめぐり」で建物の外観写真と地図掲載	令和5年12月31日	読売新聞社・WEB媒体
「歳時記」のコラム 奈良筆を執筆のため、奈良筆の撮影	令和5年12月31日	奈良まほろばソムリエの会・WEB媒体
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
奈良市歴史的風致維持向上計画に基づき実施する事業について、多数報道されており、報道を通じて、歴史的風致への関心や認識が高まるなどの効果がある。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
※ 報道等に関する資料は、権利等の関係により掲載なし		

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和5年度
「観光の振興」に向けた官民協働の取組			
計画に記載している内容	「ならまち賑わい構想」(平成4年策定)、「新奈良町にぎわい構想」(平成29年策定)を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
「ならまちわらべうたフェスタ」は、毎年10月第3日曜日にならまちの各会場でわらべうたをベースにした催しを中心に行う秋の恒例イベントの一つで、令和5年で31回目を迎えた。 また、地域の歴史的建造物を活用し地域住民やNPO団体との協働により運営されるまちかど観光案内所3か所は、地域と観光客の交流の場となっている。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●わらべうたフェスタ 「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学民連携による実行委員会形式で開催している。 例年、約30の団体が、ならまちの様々な施設でわらべうたに関連する遊びのイベントを実施している。 令和5年は10月15日(日)に、ならまちセンターをメイン会場として開催した(25,000名参加) ●まちかど案内所 地域住民による歴史的建造物の保存と利活用の要望により、地域の歴史観光資源として、官民が連携し地域住民等が運営するまちかど観光案内所を開設している。 ・旧鍋屋交番きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所) 元旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を修理し、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。 令和5年度:きたまち正倉院探訪 11月5日(日)開催 73名 きたまち大学校 3月2日(土)開催予定 203名 ・奈良市きたまち転害門観光案内所 元南都銀行手貝支店だった建物を修理し、地域のまちづくり団体、ボランティアにより、地域の観光案内や地域活動の活性化などに利活用している。 ・京終駅観光案内所 JRの駅舎(明治31年建築)を改修し、地域のまちづくり団体により、地域住民と観光客の交流の場とすべく、駅の待合所と地域の観光案内所			
			
		●ならまちわらべうたフェスタ2023 開催の様子 令和5年10月15日撮影	
			
		●旧鍋屋交番きたまち案内所 (奈良市きたまち鍋屋観光案内所)	
			
		●奈良市きたまち転害門観光案内所	
			
		●京終駅観光案内所	
			
		●駅前広場でのイルミネーション (令和5年12月20日撮影)	

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第14回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時： 令和6年2月22日(木) 午後1時30分～	
(コメントの概要)	
庭園の指定物件が少ないように思えます。町家の庭園なども保存・活用に積極的に取り組んでいただきたい。 奈良市歴史的風致維持向上計画の第1期内の事業のうち、三条線電線類美化事業や猿沢線街路整備事業などのハード事業に関しては、進捗具合が想定通りではないようです。 また、奈良町町家バンク事業についてですが、登録物件数や成約件数などの数字が年々厳しくなっているように見受けられます。 今後の第2期計画を作成するにあたり、現代建築や県・市指定の史跡を位置づけることの検討とともに、第1期計画の事業の検討も必要となることでしょう。	
(今後の対応方針等)	
庭園につきましては、平成24年度から令和3年度まで、町家の庭園を含む市内の庭園の総合調査を奈良文化財研究所とともに行い、その成果をもとに指定を進めております。新たに寺院の庭園を名勝として市指定文化財に指定したいと考えており、今後、町家の庭園も保存活用を図れるように努めてまいりたいと考えております。 他のご指摘の点につきましても検討するとともに、第2期計画の作成にあたり、歴史的風致維持向上に向けた事業の検討を行ってまいります。	